



ジョブ・カードを使って
社員も会社も **もっと** 元気に！

一人ひとりのモチベーションアップがどのように会社の業務に活かしていけるのか、互いに話し合うことによって一体感の醸成！



<セミナー風景>



<太田代表>

【団体名】合同会社ラボリ
【所在地】埼玉県坂戸市
【設立】2014年5月
【業種】医療・福祉
【事業概要】障がい者総合支援法に基づく、障害福祉サービス
就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、
放課後等デイサービス児童発達支援、共同生活援助、相談支援事業

導入目的：
従業員のモチベーションアップや能力向上、
コミュニケーションアップを図る

取り組み内容：
各々の価値観に気付き、ディスカッションで
互いの価値観を共有

導入成果：
ジョブ・カードセミナーで新しい自分発見と
相互理解で従業員の結束力アップ

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

組織の成長が著しく、人材の採用増加に伴って、従業員間の意思疎通や目的共有がはかりにくいという課題が出てきました。また、拡大する組織にあって、現場を統括する人材の育成も追いつかないことも問題点と認識していました。
何か良い方法はないだろうかと考えていた際に、ジョブカード研修の案内を見て埼玉ジョブ・カードセンターに連絡を入れたところ、ジョブ・カードの紹介がありました。ジョブ・カードを用いた研修を実施することにより、互いの価値観や、職業能力の確認の場をつくるという企画が生まれ、実施することになりました。

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

埼玉ジョブ・カードセンターより講師を派遣してもらい、「ジョブ・カード活用ガイド」を利用して、まずは自身の価値観を確認、自己理解を深めるワークを行いました。その上で、グループディスカッションを実施しましたが、これがコミュニケーションアップに非常に役立ちました。講師の指導により、発表者は具体的なエピソードを交えた話を心掛け、話を聞く側は発表者の話を聞いたあとで互いの感想を述べあう際に、ポジティブな表現を心掛けました。同じ組織に所属しながらも、どこかバラバラだった従業員に親密さと互いへの理解が生まれる機会となりました。

Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？

日常業務から離れ、従業員それぞれが改めて自分自身を振り返る機会となり、新しい自分発見の機会となりました。今回の研修は、今後の自身のキャリアプランを真剣に考えるきっかけになったと思います。
また、他拠点の従業員間でも各々の価値観について話し合うことにより、結束感が生まれ、組織としてのまとまりが出てきました。研修を通して得られた各々の価値観を従業員同士が自分の言葉で伝えることによって、相互の立場や職務を理解でき、今後発生する様々な問題やシチュエーションにおいても、協力して解決の道を開いていくことが可能であると感じています。